

【東日本】

接続料と利用者料金との関係の検証結果

(単位:億円)

サービス	①利用者 料金収入	②接続料相当	③差分 (①-②)	④利用者料金収 入に占める差分の 比率(③÷①)	接続料相当の算定方法 (以下の接続料等に需要を乗じて算定)
フレッツ光ネクスト	4,594	1,991	2,603	56.7%	回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光信号主端末回線・光信号端末回線・光信号分岐端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、光信号電気信号変換機能、NGN(收容局接続機能・優先パケット識別機能(優先クラスを識別するもの)・一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラス))、回線終端装置

(注1)利用者料金収入は、2018年度の実績。

(フレッツ光ネクストマンションタイプのうちVDSL方式については、VDSL装置の利用料を含みません。)

(注2)接続料相当は、各サービスで使用する設備ごとの2018年度の実績需要に今回申請する接続料を乗じて算定しています。

(加入光ファイバ等の收容率は2020年度適用接続料設定上の予測値。)

(フレッツ光ネクストについて、中継系ルータ交換伝送機能相当と関門系ルータ交換機能相当を推計トラヒック等を用いてフレッツ光ネクスト・ライトに按分。)

接続料と利用者料金の関係の検証結果

(総務省が決定するサービスメニュー)

2021年6月18日
N T T 東 日 本

品目	検証に用いた接続料等	検証結果(注)
1. フレッツ光ネクスト プライオ	回線管理運営費、端末回線伝送機能(光屋内配線・光信号主端末回線・光信号端末回線・光信号分岐端末回線・光信号伝送装置)、光信号多重分離機能、光信号電気信号変換機能、NGN(収容局接続機能・優先パケット識別機能(優先クラスを識別するもの)・一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラス))、回線終端装置	○
2. ひかり電話(関門系ルータ交換機能を用いる場合)	NGN(優先パケット識別機能(優先クラスを識別するもの)・一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラス))、IP通信網県間伝送機能(優先クラス)、他事業者接続料	○

(注) ○:利用者料金が接続料の合計を上回っているもの ×:利用者料金が接続料の合計を下回っているもの

<利用者料金収入の算定方法>

1. フレッツ光ネクスト :IP通信網サービス契約約款に定める料金にて算定。
2. ひかり電話 :実績収入を稼働施設数で除して算定。

<接続料相当の算定方法>

接続料相当は、2020年度適用接続料を用いて算定。

- ・加入光ファイバ、収容局接続機能等の収容率は接続料設定上の予測値。
- ・フレッツ光ネクストについて、中継系ルータ交換伝送機能相当と関門系ルータ交換機能相当を推計トラヒック等を用いてフレッツ光ネクスト・ライトに按分。